

# 平成27年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（未修コース）栗原 誠司

## 1 自己紹介

平成27年に本法科大学院を修了して、同年の司法試験に合格した9期末修の栗原誠司です。私は、出身地は兵庫県たつの市で、出身大学は同志社大学です。岡山との縁は、岡山大学法科大学院での3年間だけではありませんが、この3年間は、私の人生にとって欠くことのできない素晴らしい期間となりました。この期間に岡山でお世話になった方々には、感謝をしてもしきれません。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

## 2 岡山大学法科大学院の魅力

### (1) 先生方の手厚い指導

本法科大学院の一番の魅力は、先生方が生徒一人ひとりに対して、丁寧に指導を下される点にあります。

私は、法学部を卒業いたしました。本法科大学院に入学当時は、司法試験を合格するために何をしなければならぬかという点に関して、全くと言っていいほど無知でした。このような私に、先生方は、司法試験に必要な法律の知識や論文の書き方について、その習得方法から、本当に丁寧に指導して下さいました。

たったの3年間という短い期間で、私が司法試験に合格する力を身につけることができたのも、先生方の手厚い指導があったからこそだと思います。

### (2) 同期との強いつながり

本法科大学院は、1学年30人ほどの少数教育であり、同期として入学し、ともに司法試験に挑む仲間と強いつながりを持つという点も魅力の一つです。

私は、本法科大学院で、同期の仲間たちと3年間ともに切磋琢磨することで、継続して努力し続けることができました。また、同期の仲間たちと、互いの勉強の進度や勉強方法の確認し、互いの作成した答案を見せ合うなどして、客観的に自己分析をすることができました。特に、精神的に追い詰められる試験の直前期に、仲間たちと話をすることで、ストレスを発散させ、勉強に集中できたことはとても重要なことだったと思います。

## 3 最後に

最後になりますが、本法科大学院の先生方や先輩方、事務室や資料室の方々には本当にお世話になりました。そして何より、岡山で、共に学び、共に笑い、共に泣き、心の悩みを打ち明けることができる友に巡り合い、私は人間として大きく成長することができました。これから本法科大学院で学ぶ皆様方が、良き師、良き友に巡り合い、司法試

験受験を契機として, 人間としてますます成長されることを心よりお祈り申し上げます。